

# 山田みやこの活動報告

令和5年1月31日(火)

## 「〈働くこと〉を支援するということはどういうことか？」

—若者を大切に作る社会—

主催 若年者支援機構

講師 宮本 みち子氏(放送大学／千葉大学名誉教授)

### ○増加している「ミッシングワーカー」(消えた労働者)

長期間働くことができている人が働き盛りの40~50代で103万人と増えている。

労働者に格差があり弱い立場に置かれている労働者が「労働市場から排除」されがちな先進諸国に共通する現象で「働きたくても働けなくなってしまった人たち」。学校での躓きが社会に出ても零れていく(追いつけない)ためやり直しが効かない。しかし必要な支援に繋がれば自立した暮らしを守ることができる。誰かが具体的に手を差し伸べる環境をつくる。それぞれの地域には必ず助けてくれる場所があるはず。

### ○若者の実態と生活保障

“失われた20年”でいくら働いても暮らしが成り立たない人々が増加。暮らしが成り立つという観念さえ持てない例も目立つ。

中流生活は弱体化し、一定の若者が雇用からも社会保障からも排除され、生計を立てることの困難に直面しているから若者の生活保障が必要。

障害者の範疇には入っていないが、病気や就労困難など生きづらさを抱え、長期間無業のまま引きこもっている若者の比率が年齢が上がるほど高くなる。このまま放置しておけば無年金・無資産・家族なしの状態が高齢期に突入する。中年単身の低所得者、親と同居する中年未婚者、貧困化する母子世帯⇒従来の社会保障、福祉制度が対象としてこなかった人々の増加。

また支援する側が衰退し、核となる人々が育たない。支える側を支え直す+支えられる側の参加機会を広げ社会に繋げる。公共政策によりコミュニティを作っていくこと(共生保障)が有効である。

### ○8050問題から見えること

- ・支援が届かなかった親子
- ・社会復帰する仕組み、道筋を作る

### ○若者の暮らしを確立するための課題

- ・若者就労支援サービスには出口が担保されていない
- ・生計が成り立つ見通しが立たない就労支援
- ・若者向けの社会保障は手薄で就労所得の不足を補う手段がほとんどない
- ・親の扶養も前提になっていて所得保障なしの若者支援

### ○地域密着型の社会的投資を

- ・健康、家族問題、居住、就労等、総合相談による包括支援
- ・多様な居場所とオーダーメイド型の多様な就労
- ・低所得を補う補完型所得保障が必要

### ○ミッシングワーカーの公的支援

ソーシャルファーム条例(東京都)

SDGs 持続可能な開発目標

「誰一人取り残さない」  
社会の実現のために

全国的若年無業者 推定 54 万人

未来の地域を築く若者たちが自ら人らしく働いたり、暮らしたりできるような社会をつくることはとても大切です。持続可能な地球、社会をつくるための共通の目標である「SDGs」において、若者の社会的自立を助けるための社会参加や就労サポートは、重要なテーマとなっています。

08 働きやすい経済環境  
01 貧困をなくそう  
11 住み続けられるまちづくりを

若者たちが地域社会に参画し、それぞれの働き方や暮らし方を実現するため、社会との縁が断ち切れた若者たちの居場所や活躍の場づくり、働き手不足を克服する企業が雇用手不足、困窮を伴うことができる就労プラットフォームを多く提供し、若者に合った就労の場を見つけるなど、一つの課題では無くても、様々な組織の持つ力や機会を活かすことで実現できることがあります。

企業は社会貢献活動や、事業をいかにした取り組みなどいろいろな切り口から、セクターの枠を超え、協力して実現できることを一緒に考えませんか？

2023 1/31(火) 14:00-16:00  
とちぎ若年者支援センター  
アビエース  
第1研修室

現在、企業や組織での職体験をする際、若者とスタッフがチームとなって仕事の一部を担い、様々な仕事を体験することで働く意義や学びの機会をめぐっていますが、設立から11年経っても出口不足は引続き課題です。

県内外で若者支援を実施されている方に話を伺い、協力団体・企業と若者両者にとって良い関係を築く方法を考えるための研修会を開催します。

ゲスト

宮本みち子氏  
放送大学／千葉大学名誉教授・社会学博士  
特定非営利活動法人若年者支援機構、社会政策研究センター  
設立及び地方自治体の子ども、若者支援の立案や全国の若者支援団体の活動に専ら。

認定NPO法人キャリア・デザイナーズ  
宇都宮支部長 藤村 隆志  
就労支援を行う、中小企業のご協力のもと職員(ジョブ・トレーナー)が若者23名を指導し、就労体験を実施。

代表 若沢 雅夫  
合同会社とちぎアグリ  
宇都宮市南町で農村地域の活性化を目的に熊本県農産物のO8等を中心となり出展し立ち上がった組織。  
農業体験や研修など様々な形で連携しながら活動中。

参加申込み・お問い合わせ 右のQRコード又はホームページより  
運営 若年者支援機構 HP <https://shigtokyo.wixsite.com/challenge>  
編集 山田みやこ